

「砂川駅前地区整備基本計画（案）」にお寄せいただいたご意見と砂川市の考え方

○意見募集期間 令和3年2月13日（土）～令和3年3月15日（月）

○意見提出者数：3人（個人3人）

○意見提出数：3件（個人3件）

○意見要旨及び意見に対する砂川市の考え方

※意見などについては原文の通りとしていますが、一部読みやすくするため修正、集約、分割などを行っています。

No	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
1	<p>駅前に限ったことでは無いですが、街全体が薄暗く、夜も暗いです。古い建物が多いからか、寂しい雰囲気があります。駅前だけではなく、街全体をもう少し明るい雰囲気にしてはどうでしょうか。</p> <p>広場やフリースペースを中心としてという施設コンセプトのようですが、もう少し10代～30代の若者世代が楽しめる施設を考えた方がよいと思います。突発的なイベントだけではなく、若者の常時雇用が見込まれるようなテナントを入れるなど。友人や家族の待ち合わせにこういう広場って利用しますでしょうか。</p> <p>砂川市は車社会なので、待ち合わせとしての利用頻度は低いと思います。</p> <p>待ち合わせスペースにしたいのであれば、無料Wi-Fiを完備するなど。</p> <p>学生さんや若者が砂川市に戻ってきたいと思ってもらえる所にしないと、せっかくこのような建物を作ったとしても最初だけ流行って数ヶ月後には人が居なくなったり、寂しい印象となってしまうと思います。</p> <p>雇用を生み出すテナントを入れて欲しいです。</p>	<p>基本計画（案）は、砂川高校の生徒をはじめ20～60代の幅広い世代の方が集まった市民ワークショップや、第7期総合計画における市民意識調査などの意見を踏まえて策定した砂川駅前地区整備基本構想を具体化したものです。当該基本構想の基本コンセプト「賑わいと魅力を生むまちの居場所」の実現に向け、基本計画（案）の施設コンセプトを「広場・フリースペースを中心として広がるまちの新たな賑わいの場」とし、特に「6.整備計画」にあります「滞留・交流機能」の「フリースペース」「屋外広場」を中心に自宅や職場・学校以外の「第三の居場所」として、イベントだけではなく平日の居場所が重要という点から、「時間帯別空間利用イメージ」を記載しております。</p> <p>Wi-Fiの完備につきましては、基本計画（案）の「6.整備計画」にあります「フリースペースの考え方」でノートパソコン等を使い仕事をする方の利用も想定していますので、今後の設計段階で検討させていただきます。</p> <p>テナントについては、店舗としてのスペースを確保するのではなく、フリースペースや屋外広場において好きな曜日や好きな時間帯、好きな場所で、ワゴン等で販売を行うことができる環境を設け、訪れる方の楽しみとしての場を作り出すことをもって、出店者の将来的な店舗をもつ足掛かりや既存店舗への誘導に繋げ、将来的には、周辺に雇用を生み出す民間事業者の投資の誘発に繋がっていく考えからも、基本計画（案）の「5.基本構想を踏まえた前提条件の整理」の基本コンセプトイメージにあります、「周辺商業への賑わいの波及」「民間投資の誘発による経済波及効果」を記載しております。</p>
2	<p>p8ページにあるように</p> <p>1の市民の居場所を作るために 例えば高齢者と砂川高校のボランティア同好会を活用し若い人と会話したり、カフェで病院帰りに寄りやすい場所作る。</p> <p>2の賑わいづくりについては 例えばヨガをしてレストランに食事をしていくのもよいかもしれません。</p> <p>3のまちの魅力は 砂川市はスイートロードでPRしていますが、なかなか直営店に行きづらい人も居るかもしれないので一ヶ所で様々なお菓子があれば買やすくなると思います。</p>	<p>「市民の居場所を作るために」ですが、砂川高校の生徒をはじめ20～60代の幅広い世代の方が集まった市民ワークショップや、第7期総合計画における市民意識調査などの意見を踏まえて策定した砂川駅前地区整備基本構想にあります基本コンセプト「賑わいと魅力を生むまちの居場所」の実現に向け、基本計画（案）の「6.整備計画」にあります「滞留・交流機能」の「フリースペース」「屋外広場」を中心に自宅や職場・学校以外の「第三の居場所」とする考えであります。頂いたご意見につきましては、利活用を想定する中で参考とさせていただきます。</p> <p>「賑わいづくり」に関して、頂いたご意見につきましては、滞留・交流機能(フリースペース・屋外広場)と「飲食機能(カフェ等)」との連携又は、市内への賑わいの波及への参考とさせていただきます。</p> <p>「まちの魅力」に関して、頂いたご意見につきましては、滞留・交流機能(フリースペース・屋外広場)や魅力発信機能(観光情報等発信施設)の利活用を想定する中で参考とさせていただきます。</p>
3	<p>「砂川駅前地区基本計画案」のことで、平成22年まで砂川市に住んでいて、元パチンコ店の近辺はよく覚えています。でも、どうしてもパチンコの「パラーグラウンドホール」の、かつての印象があって、想像をふくらませようにも想像が湧きません。建物内に北光公園や砂川遊水地などの写真パネルを提示してはどうでしょうか。それから、砂川市内のおかし屋さんで作っている商品や、市内の企業の商品の見本を展示（展覧）する場所があったらよいと思います。「いわた書店」や「北海道銀行」「ひだや」「山屋」などの近くですが、休憩や待合場所としては、気になります。休憩場所としての想像が湧いてこないのです。「砂川市公民館」や「砂川パークホテル」などのほうが、休憩場所としての印象に近いです。以前の華やかな電飾照明だったパラーグラウンドホールの印象が拭えません。少しでも参考にさせていただけないでしょうか。</p>	<p>砂川駅前地区整備基本構想にあります基本コンセプト「賑わいと魅力を生むまちの居場所」の実現に向け、基本計画（案）の「6.整備計画」にあります「滞留・交流機能」の「フリースペース」「屋外広場」を中心に自宅や職場・学校以外の「第三の居場所」とする考えであります。写真パネル等は、滞留・交流機能(フリースペース・屋外広場)や魅力発信機能(観光情報等発信施設)の利活用を想定する中で参考とさせていただきます。</p> <p>なお、基本計画（案）では具体的な外観イメージは出来ておりませんが、「国道12号に対して、まちの顔である中心市街地に相応しい印象的で魅力的な施設及び屋外広場」であるべきと考えており、駅前地区が今後どのような施設イメージになるかは、令和3年度の設計段階でイメージ図等をお示しする予定となっております。</p>